



# あっぷねす

発行：弘前大学生協本部  
〒036-8224 弘前市文京町1番地  
Tel: 0172-34-4806 Fax: 0172-36-6965  
2022年4月15日 第142号

1ヶ月に1回発行。弘前大学生協の活動をお知らせいたします。

弘前大学生協のホームページは、「弘前大学生協」で検索！

## Vol.142

### 弘前大学への奨学金寄付



3月17日、弘前大学・福田学長より、奨学金寄付の感謝状を受領しました。「大学としても生活支援を行っているが、この寄付によって大学で届けられない学生にも支援が出来るのでぜひ継続してほしい。100円夕食等における食支援への協力についても感謝している」との言葉をいただきました。

コロナ禍で厳しい経営状況は続きますが、一人でも多くの修学支援が出来るよう、可能な限り継続する意向を山田理事長より伝えました。

弘前大学生協 専務理事 上遠野泰

「弘前大学生協同組合学生支援金給付事業」…経済的理由により修学が困難な学生に対する支援金。修学に係る経済的負担の軽減、また修学環境を整える一助とすることが目的。

## 第61回通常総代会開催のお知らせ

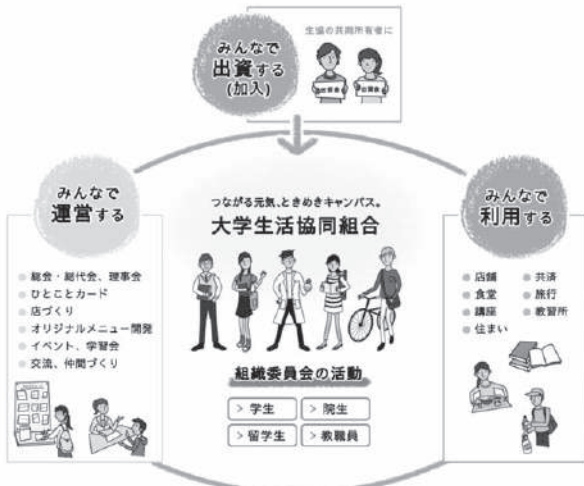
日時：2022年5月20日(金) 18:00~20:30(予定)

場所：弘前大学50周年記念会館 みちのくホール(予定)

総代会は生協の意思決定のための最高議決機関です。この会では昨年度の振り返りと新年度の活動方針の決定が行われ、弘前大学生協では年に1回、5月に開催しています。

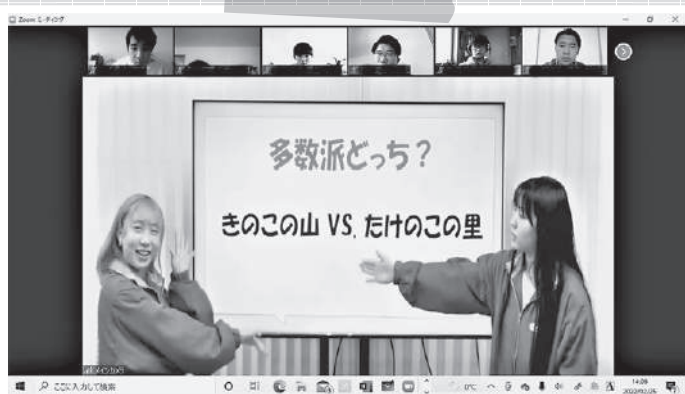
大学生協は「大学生協同組合」の略で、数ある「協同組合」の1つです。利用者の一人ひとりがお金(出資金)を出し合い組合員となり、協同で運営・利用する組織です。

生協は加入して利用しましょう！



# 「ハロー総選生！ #早めに弘大生感じてみた」を開催しました。

(学生委員会：新学期企画)



司会の様子

オンラインでの開催だったため、参加している総選生（総合型選抜生の略称）の反応が伝わりづらい部分もありましたが、カメラ越しに緊張しながらも楽しそうな表情が見られました。

参加した新入生からチャットで質問をもらいそれに答えていく『お悩み相談ラジオ』のコーナーでは、抱えていた大学生活への不安や疑問など質問をたくさんもらいました。

開催日：2月25日（金）・26日（土）・27日（日）  
時間：14:00～16:00  
オンライン開催 参加人数：87名

## 開催目的

- 同じ状況の新入生（総選生）がいることを知って、情報の共有・想いの共感をしてもらう。
- 大学入学までの期間を有意義に過ごせるようになってもらう。
- 自身に必要な情報を得て、大学生活への不安を解消してもらう。



お悩み相談ラジオの様子



開催前の宣伝写真

その後の『Hello! New Myself』のコーナーでは、総選生同士での交流の時間を設けて、ゲームを通し大学での目標や楽しみ、不安なことなどをお互いに共有したり交流を楽しんでもらいました。

今回の企画は、遠方に住んでいる総選生にも参加してほしいという想いでオンラインでの開催を選択しました。今後もオンラインの利点を生かした企画を積極的に行ってまいります。

生協学生委員会 理工学部2年 工藤宏太郎

## 【参加者の声】

- 他の総選生との交流が楽しかった。特に勉強は自分以外も苦しんでいると知って安心した。
- 大学生活が楽しみになりました。ありがとうございました！
- 緊張していたけど次第に打ち解けられて楽しかったです。



# 2年生・保護者向け キャリアセミナーを開催しました。

開催日時：2月8日(火) 18:00~19:30  
2月9日(水) 10:30~12:00  
参加人数：50名



## 開催目的

もうすぐ3年生となる春休み直前の時期に、余裕を持って就職活動が始められるよう、今からできることを紹介

毎回異なるゲストを招いて実施しているキャリアセミナーですが、今回は内定を獲得し卒業を目前に控えている4年生の先輩に登場してもらいました。

毎回恒例の事前質問回答コーナーでは、実際に就職活動を終えた先輩によるリアルな体験談が聞けました。

特に「自己分析」「過去のエピソード・ガクチカ」「自己PR」については、当時使用していたメモ等をそのまま発表してもらい、参加者にとって就活のゴールイメージがもてる発表でした。

今後も回ごとに設定したテーマに沿って、先輩や卒業生などのゲストをお呼びし、リアルな声を届ける機会を設けます。

SHAREA店 浅賀陸

## 【参加者の声】

- 何から手をつければ良いのか悩んでいたが、実際に先輩から就活の進め方についてお話を聞いて、時期ややるべきことなど少しずつ道がひらけてきたように感じた。
- 満足した理由は内定が決まった先輩が弘大生の就活のリアルな部分を語ってくれたから。
- 就職活動をするために今からやるべきことを考えるきっかけになった。

## 環境活動(学生委員会) 2021.3~2022.2



【回収活動】 ※5月・1月・2月はメディア授業のため回収していません。

### ●ペットボトルキャップ 期間：週1回 回収量：240kg

弘前大学生協で回収したものは、(株)青南商事に持ち込み、その後リサイクル業者へ、買取料をECOリパブリック白神(特定非営利活動法人)が行っている白神山地の保全活動に寄付されています。

ペットボトルキャップ自体は、リサイクル業者が各企業に販売し、再生プラスチックとして再利用されます。

### ●割りばし 期間：週1回 回収量：22.54kg

回収した使用済みの割りばしは、乾燥させてから段ボールの箱に詰めて、割りばしリサイクル活動を行っている北海道の王子製紙(株)へ送り、そこでコピー用紙やティッシュなどの原料の一部になります。

### ●弁当容器 期間：週1回 回収量：725個(学生委員会が回収した数)

弘前大学生協で回収されたデポジット容器は、山形県最上郡にある弁当容器のリサイクル工場である「ヨコタ東北アメニティセンター」へ運ばれます。そこで、高温で溶かされて「再生ペレット」に戻され、シート状に加工し型でプレスされることで、デポジット容器になります。

文京地区学部棟に置かせていただいている回収BOXが新しくなりました！授業がある期間は週1回、ペットボトルキャップと割りばし、デポジット容器の3つを回収しています。

# 学生総合共済からのお知らせ

## 3月の給付状況

病気入院	6件
病気手術	5件
事故入院	18件
事故手術	1件
事故通院・固定具使用	11件
特定傷害固定具	3件
こころの早期対応	5件
本人死亡	1件
父母扶養者死亡	3件
借家人賠償	1件
計	54件

給付金額

5,716,600円

## たすけあいアンケートより

「いつ何時病気になるのかは誰もわからないので、共済に入っていて良かったです。ありがとうございます。」

(農学生命科学部1年 急性虫垂炎)

入院5日 共済金50,000円)



- \*借家人賠償は2018年度までに学生総合共済(火災共済)に加入した方の保障となります。
- \*火災共済は2019年3月31日をもって新規募集を終了しました。

## 学生総合共済加入者専用

# 学生生活無料健康相談テレホン

学生生活無料健康相談テレホンは、学生総合共済加入者のためのサービスとして、多くの学生や保護者の方にご利用いただいています。学生・保護者の皆さまより、深刻なものから急ぎのものまで、たくさんの相談が寄せられます。

予約不要で24時間365日、無料で相談できる点や長引くコロナ禍で友達が作りづらい、交友関係が広がらず相談できる相手がないといった状況で、「学生に必要なサポート」として福田学長より落ち着いた目に入りやすい学内のトイレへ掲示していただいています。

### 【新型コロナウイルス感染症に罹患された共済金のご請求について】

新型コロナウイルス感染症に関しては、2020年2月1日より『不慮の事故による傷害とみなす感染症』として受付しています。また、医師からの指示による自宅療養も対象となっています。(2022年4月現在)  
詳細は 弘前大学生協ホームページ>「新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様へ」より

## 編集後記



学位記授与式後、キャンパス内ではたくさんの卒業生、在校生の姿が見られました。1月4日からのメディア授業が継続されていたため、キャンパス内にこんなにたくさんの人がいるのを見るのがとても久しぶり。コロナ禍で行動が制限されることが多くなり、ただ日々が過ぎていくような感覚になりがちでしたが、こうした行事で区切りを感じることは大切だと改めて思いました。新入生にも、笑顔でこうした日を迎えていただけるよう、大学生活の「困った」が解決できるようサポートしていきたいと思います。(SHIMO)